

7-4 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果（2016年11月～2017年4月）

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (November, 2016~April, 2017)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

1. 観測概要

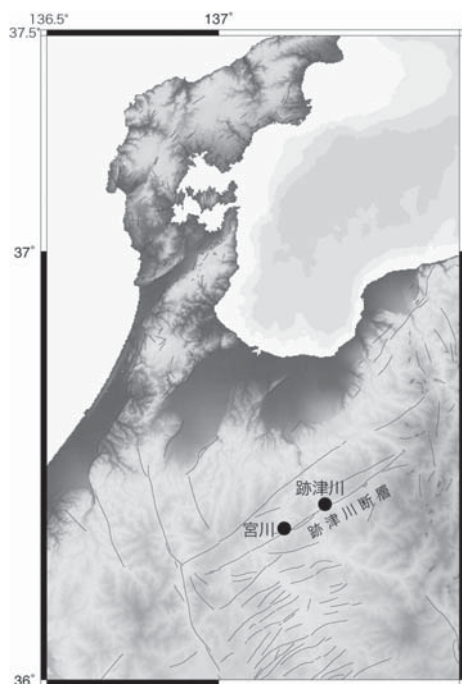
産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している（第1図）。宮川は深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計（1Hz, 3成分速度計）を設置。深度256.78～267.66mの滞水層での地下水位と体積温度計の計測も行なっている。跡津川は坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。地下水位と体積温度計の計測も行っている。なお、跡津川の観測は2017年3月14日に終了した。

2. 観測結果概要

宮川（第2図）：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。2016年12月17日パプアニューギニアの地震Mw7.9と2017年1月22日ソロモン諸島の地震Mw7.9では、歪計のステップ及び地下水位の変化は見られない。

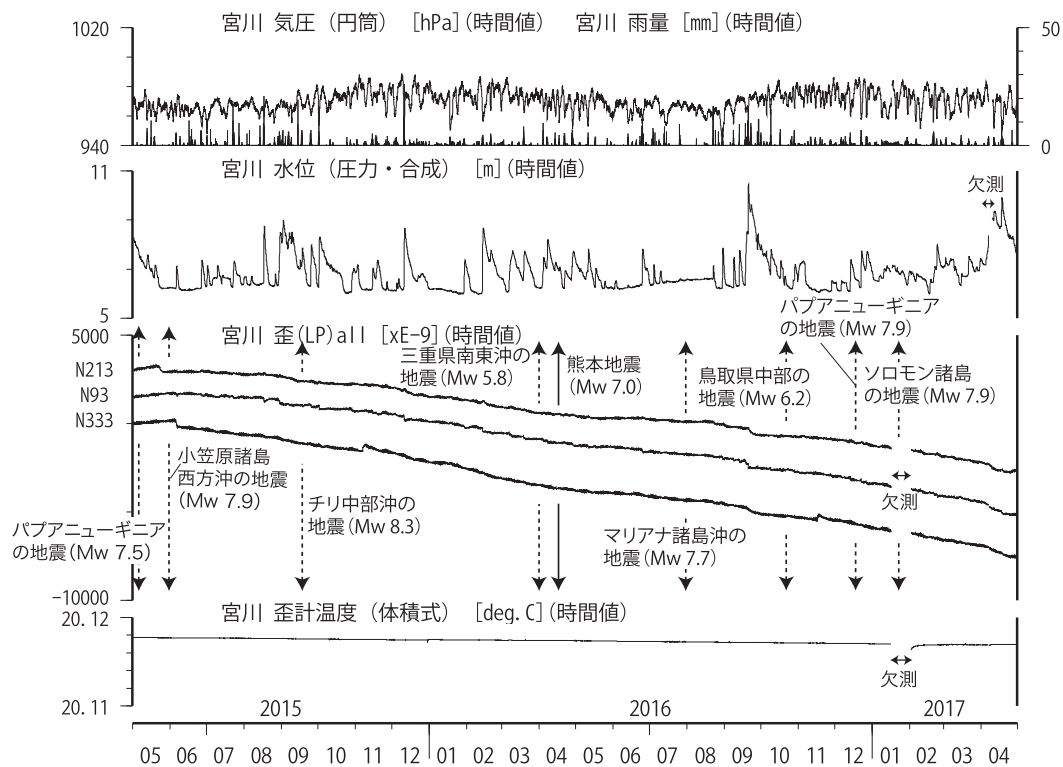
跡津川（第3図）：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度、歪の不安定な変動が続いている。パプアニューギニアの地震Mw7.9とソロモン諸島の地震Mw7.9では、歪計のステップ及び地下水位の変化は見られない。

（木口努・今西和俊・松本則夫）

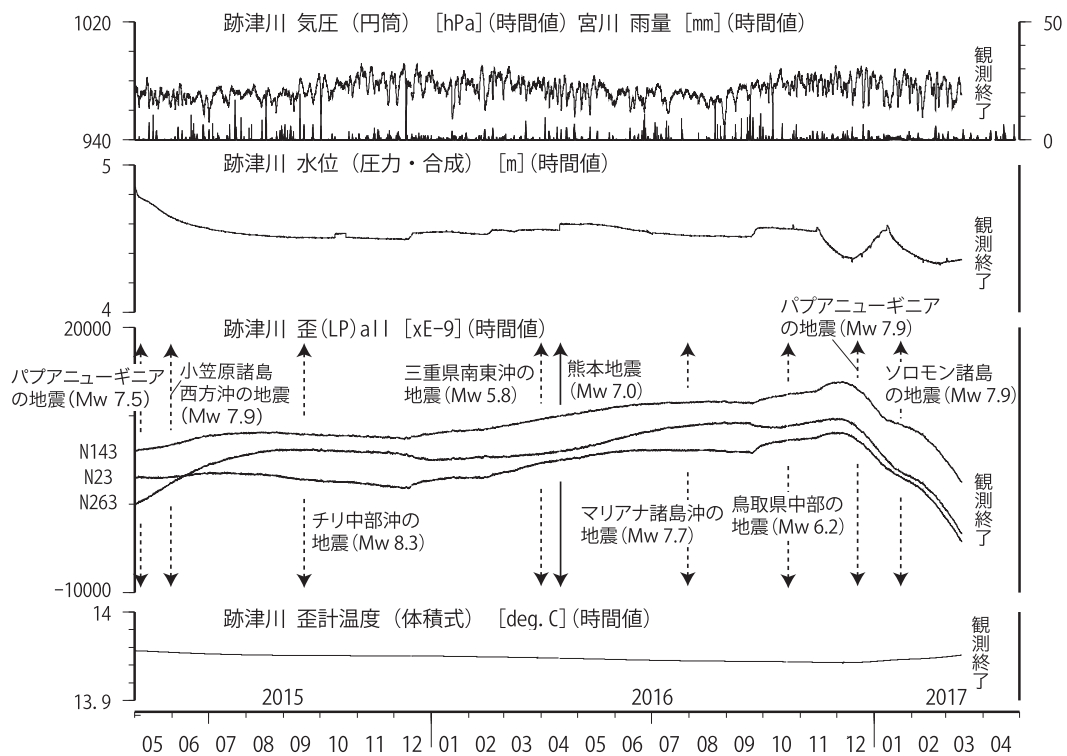


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果（2年間）
 Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).



第3図 跡津川における歪観測結果（2年間）
 Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 2 years).